

# 速く走るコツ伝授

## 草加西高 陸上部 松原小児童と交流

草加市内の小学生が出場する陸上競技大会を前に県立草加西高校陸上部の14人が6日、同市立松原小学校(入内島)に、大会選手候補の5、6年生

約60人に練習を指導した。小学生と高校生のスポーツ交流事業の一環で、陸上部が同小で指導するのは初めて。

この日は雨で、部員らは走りながら体をひねったり、も



児童の前で練習を披露する草加西高校陸上部の部員ら  
—草加市松原の松原小学校

も上げをするなど、雨の日に行っている練習を見学の前で披露。部員に続いて、児童からも動きをまねた。音楽に合わせた練習で、児童らの笑顔も目立った。

選手候補の児童らは9月下旬から練習を始め、大会はリレーやボール投げ、走り幅跳びなどの種目で出場する。

小学6年の大木琉聖君(12)は「どう練習したら良いか分かった。楽しかった」とほほ笑んだ。6年生の細井華奈さん(11)は「いつもと違つも

も上げができた。高校生に教えてもらえて楽しかった。またやりたい」と希望した。

草加西高校陸上部2年の堀川純鈴副部長(17)は「普段、小学生に教えることがないので緊張した。良い経験になった」、マネジャーの2年生、

福田玲奈さん(16)は「さすがしく練習ができたのが印象的だった。またこのような練習があったら参加したい」と話していた。

陸上部顧問の斉藤貴浩教諭(26)は「高校生の時、小学

生に練習を指導した経験があり、教師を目指すきっかけになった。生徒たちに教える難しさや大切さを感じてもらえたら」と望んだ。(岩波里枝)

2017年10月11日(水)

# 埼玉新聞

草加西高校陸上部が行った  
埼玉の子ども70万人体験活動の  
様子が掲載されました！